

荒瀬川の改良復旧に係る
「二級河川日向川水系 河川整備計画」
住民公聴会

令和7年3月

山形県

県土整備部河川課、庄内総合支庁河川砂防課

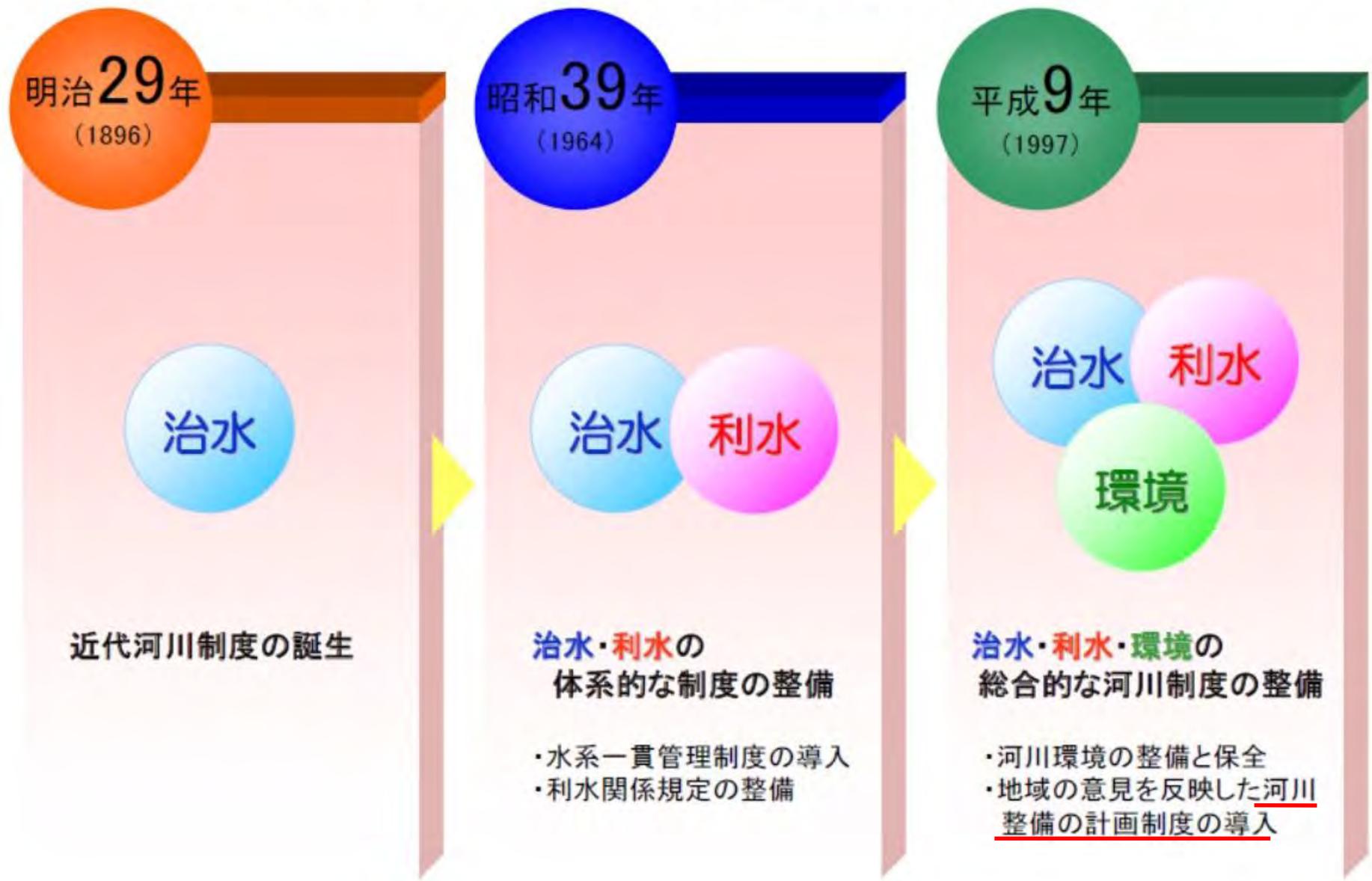
1. 河川整備計画について
 - (1) 河川整備計画の位置づけ
 - (2) 河川整備計画策定の手順
 - (3) 県管理河川の河川整備計画策定状況

2. 日向川水系河川整備計画の策定について
 - (1) 策定の経緯
 - (2) 令和6年7月大雨の概要
 - (3) 被災状況

3. 日向川水系河川整備計画(素案)
 - (1) 流域の概要
 - (2)～(4) 治水・利水・河川環境の現状と課題
 - (5) 河川整備計画の目標に関する事項
 - (6) 河川整備計画の実施に関する事項
 - (7) 維持管理に関する事項
 - (8) その他必要な事項・配慮する事項

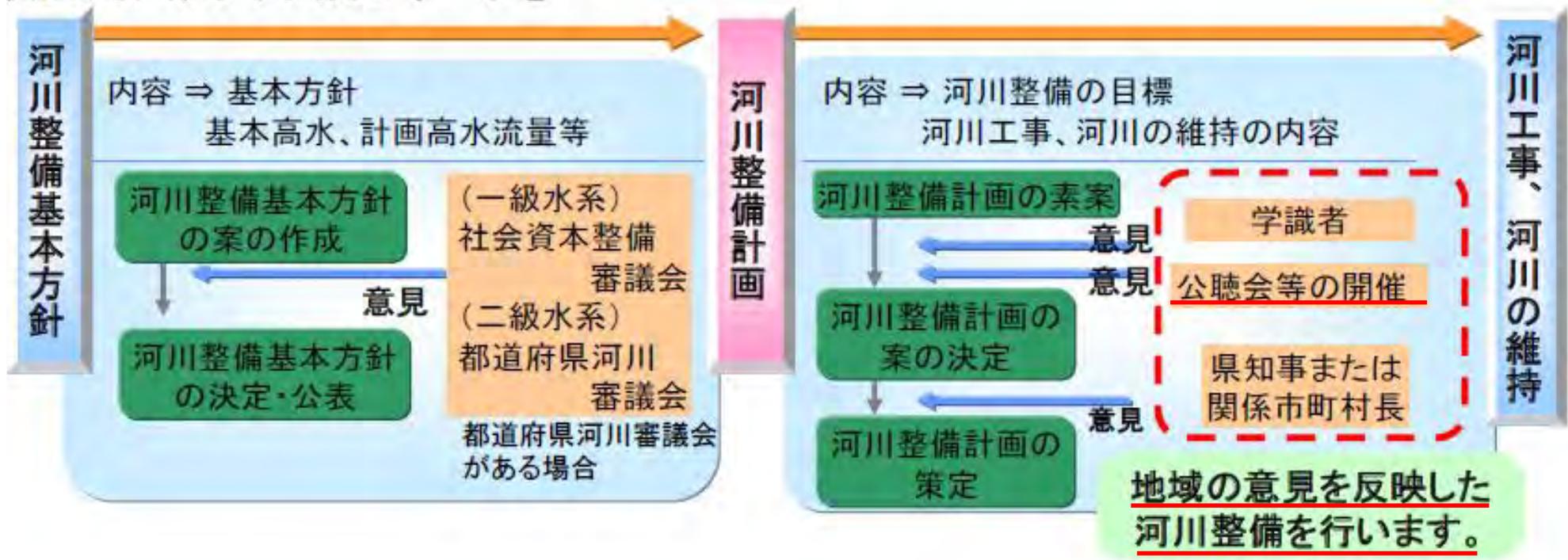
4. 今後の予定 整備計画策定スケジュール

～時代に合わせて河川法は見直されています～



1. 河川整備計画について (2)河川整備計画策定の手順

河川法 第16条、第16条の2



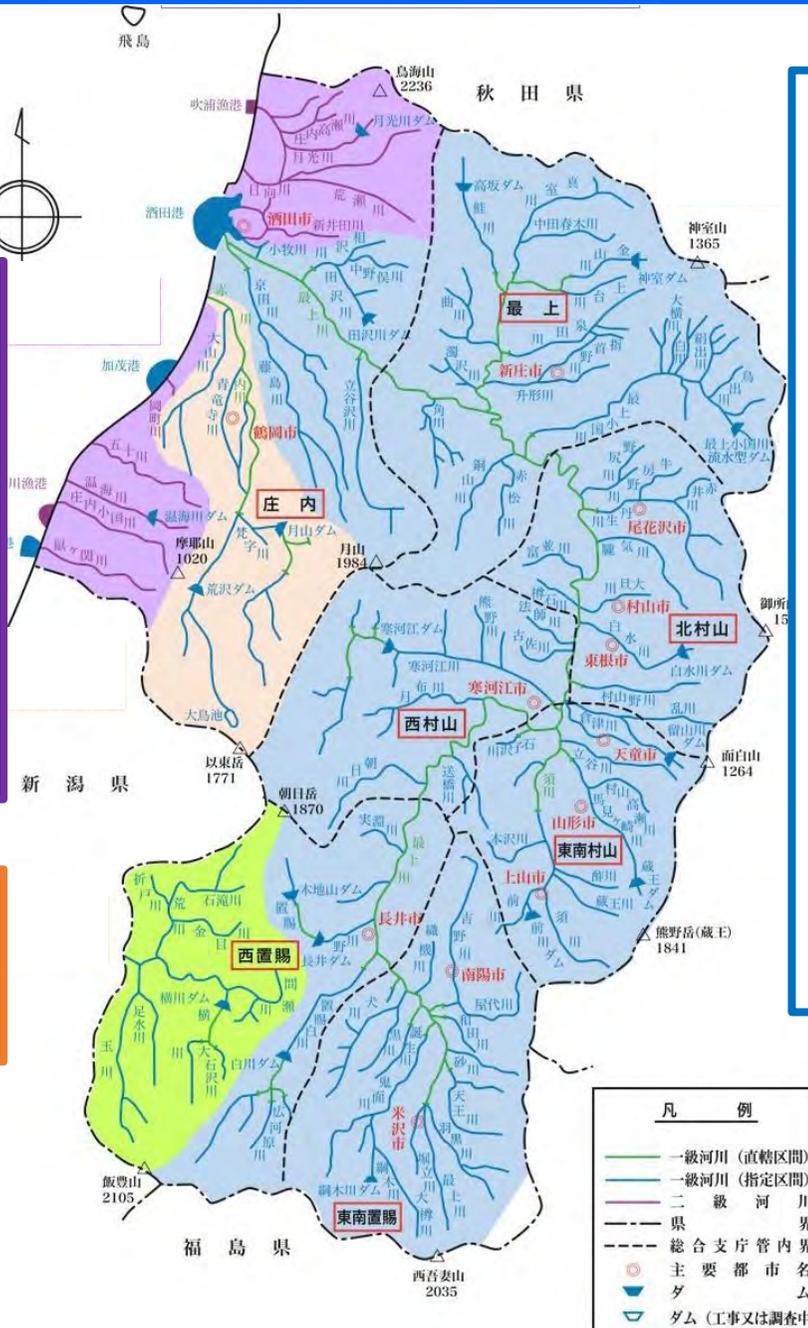
1. 河川整備計画について (3) 県管理区間の河川整備計画策定状況

二級河川
 新井田川水系 河川整備計画
 平成19年 7月策定

月光川水系 河川整備計画
 平成30年11月策定

日向川水系 河川整備計画
 令和 7年 策定予定

一級河川
 赤川水系 河川整備計画
 平成25年 3月策定



一級河川
 最上川水系 河川整備計画
【庄内圏域】
 平成15年 9月策定

【最上圏域】
 平成15年 9月策定
 (平成19年 1月最終変更)

【村山圏域】
 平成15年 9月策定
 (令和 4年 3月最終変更)

【置賜圏域】
 平成15年 9月策定
 (令和 5年 6月最終変更)

2. 日向川水系河川整備計画の策定について (1)策定の経緯

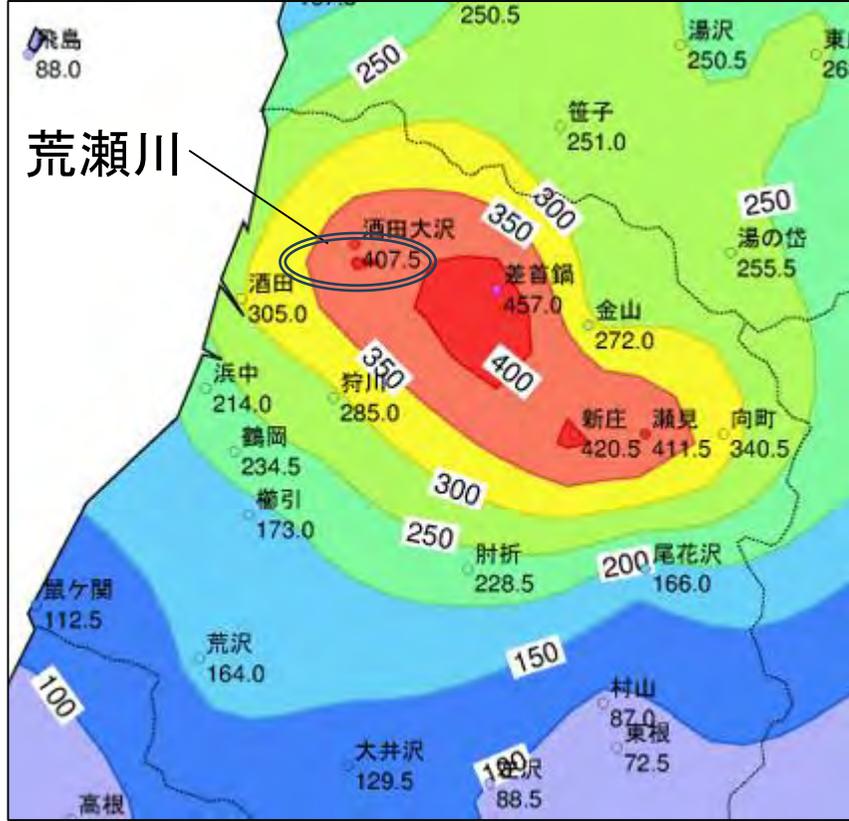
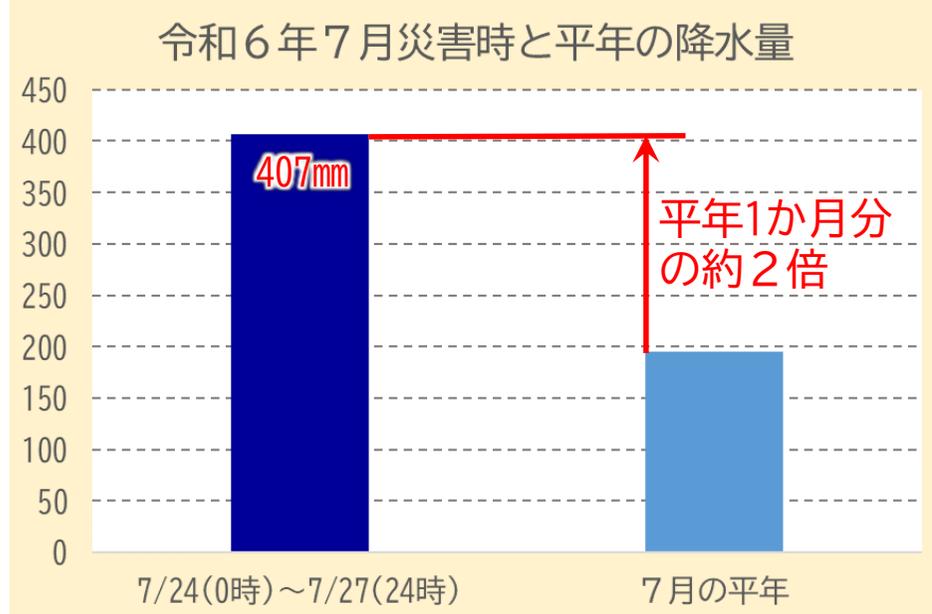
- 令和6年7月、日向川水系の荒瀬川では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続き、記録的な大雨となった。
- 荒瀬川の流下能力を上回る流量が流れたことで溢水し家屋浸水や農地冠水が生じたほか、河岸侵食や橋梁等の施設が被災するなどの甚大な被害が発生
- 令和6年7月洪水と同規模の洪水において、再度災害防止を図るため、改良復旧事業を実施

原形復旧だけではなく、改良復旧
(河川整備)を実施

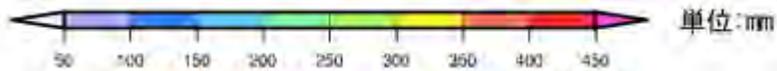
河川整備計画を策定

2. 日向川水系河川整備計画の策定について (2)令和6年7月大雨の概要

令和6年7月、日向川水系の荒瀬川では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続き、記録的な大雨となった。



- 7月25日 08:15 大雨警報
- 09:30 荒瀬川 (市条) 避難判断水位超過
- 10:10 荒瀬川 (市条) 氾濫危険水位超過
- 13:05 大雨特別警報
- 20:10 大雨警報へ切替え
- 23:40 大雨特別警報 (2回目)
- 7月26日 05:50 大雨警報へ切替え



アメダス総降水量の分布図(7/24~27)
(山形県災害時気象資料 梅雨前線に伴う大雨
(令和6年7月24日~27日)から抜粋、加筆)

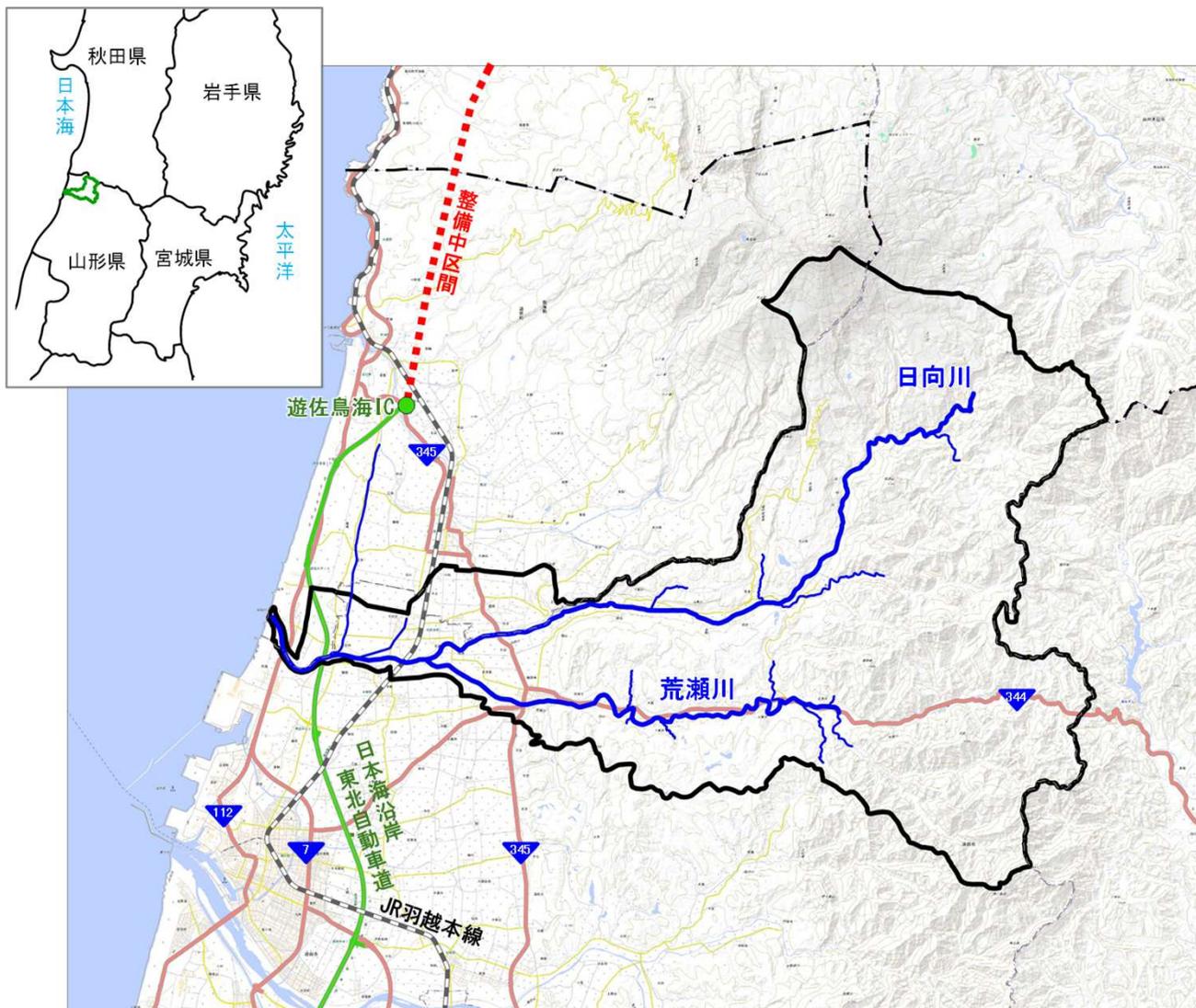
2. 日向川水系河川整備計画の策定について (3)被災状況

- 荒瀬川の流下能力を上回る流量が流れたことで溢水し家屋浸水や農地冠水が生じたほか、河岸侵食や橋梁等の施設が被災するなどの甚大な被害が発生



3. 河川整備計画(素案) (1)流域の概要

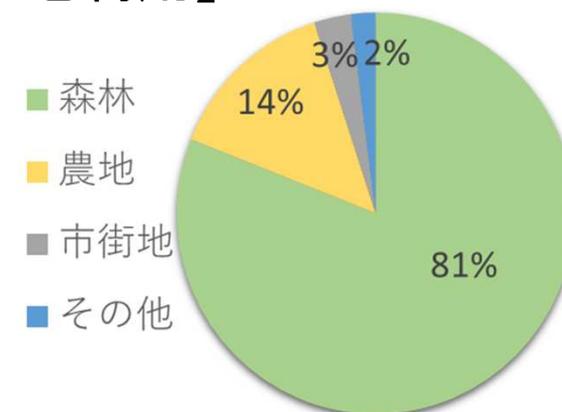
- 日向川は、その源を山形県飽海郡遊佐町の鳥海山に発し、幾多の溪流を集めて西流した後、南流し、前の川、草津川を合わせて再び西流する。酒田市米島以西で、荒瀬川や草田川、西通川をそれぞれ合わせ、遊佐町比子において日本海に注ぐ。
- 幹川流路(日向川)延長32.5km、流域面積219.0km²の二級河川



【関係市町】

- 酒田市
- 遊佐町

【土地利用】



【主要交通路】

- 国道344号
- 国道345号
- 日本海沿岸東北自動車道
- JR羽越本線

3. 河川整備計画(素案) (2)治水の現状と課題

治水

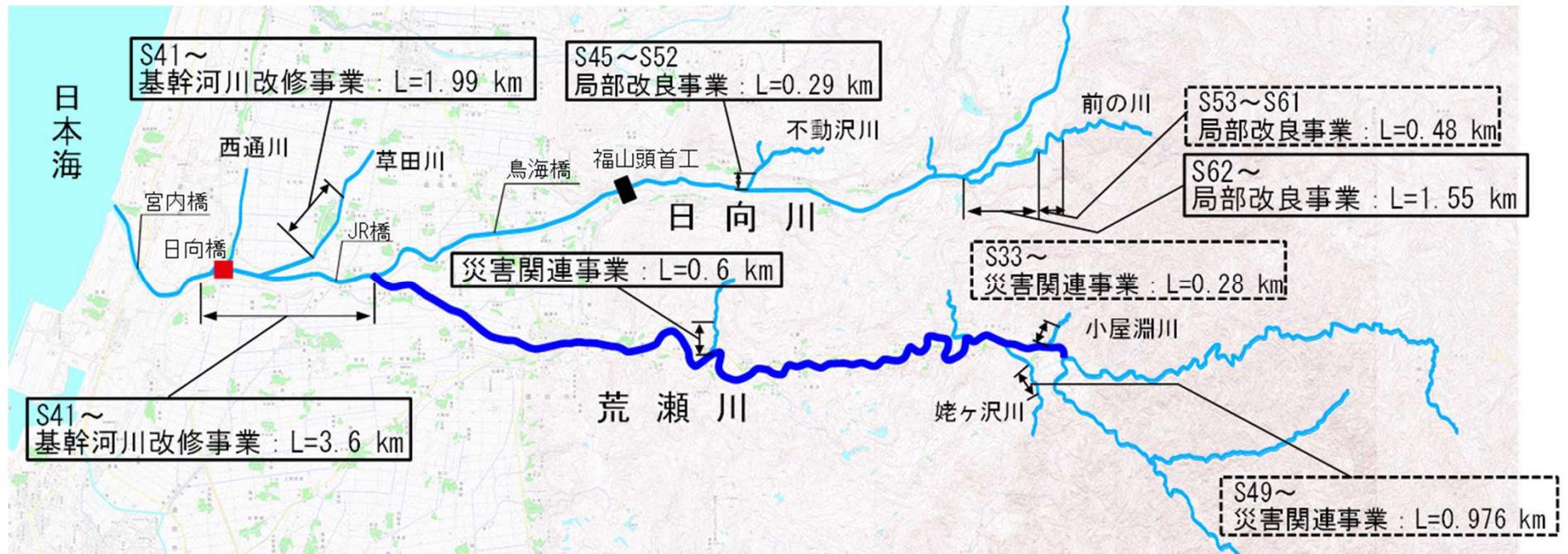
現状

日向川流域では昭和41年より実施してきた中小河川改修事業により、日向川や草田川で河川改修を行ってきた。日向川下流の3.6kmで掘削及び築堤が完了している。(日向川上流では、火山砂防事業において流路工が整備されている。)

一方、荒瀬川では平成30年8月洪水、令和6年7月洪水で被災しており、河川改修によって治水安全度の向上が必要である。

課題

- 荒瀬川の流下能力向上
- 施設の能力を上回る超過洪水を想定した対策の実施



利水

現状

日向川流域では農業用水、発電用水として水利用が行われている。取水箇所は、日向川頭首工、荒瀬川頭首工などがあり、かんがい利用されている。水利用の多くを河川水に依存しているため、渇水時には大きな影響を受ける。

また、魚釣りや河川公園として利用されている。

課題

- かんがい用水の多くを河川水に依存しているため、渇水時の対応
- 関係機関と連携した、河川公園等の維持管理



日向川頭首工
(日向川土地改良区HPより)



荒瀬川頭首工
(日向川土地改良区HPより)

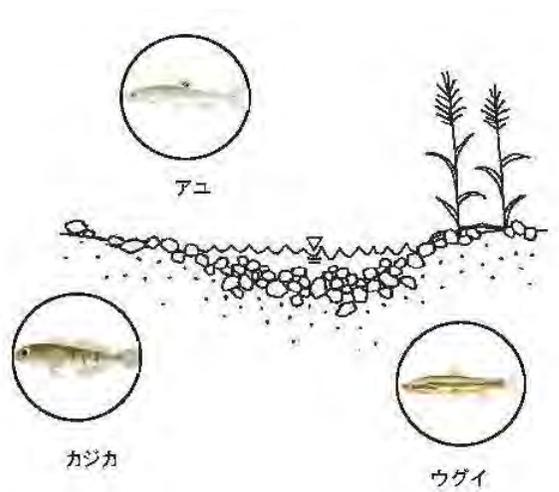
環境

現状

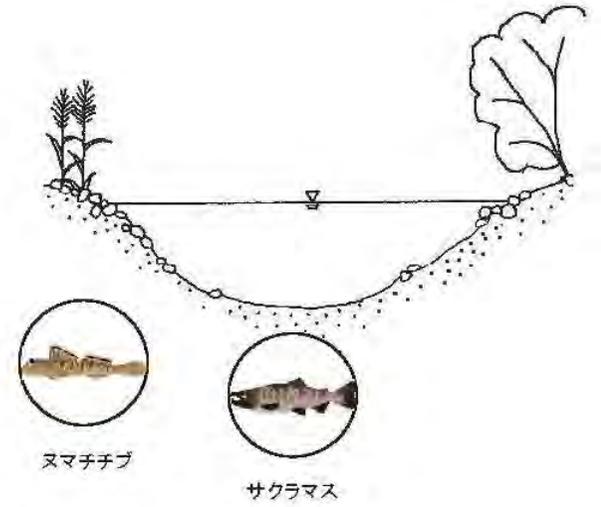
日向川や荒瀬川などの上流域は美しい景観を有し、沿川周辺は典型的な里山環境を形成している。また、産卵場所となる瀬淵があり、多くの魚が生息・生育・繁殖している。

課題

- 動植物に配慮した、流域が有する豊かな河川環境の保全
- サクラマス、アユ等が移動できる河川の連続性の確保及び産卵に適した環境の保全
- 現在の良好な河川水質の維持



【瀬】多くの魚類の産卵場所
近傍の淵とともに孵化した稚魚の生息・生育の場



【淵】生物の休息場所や待機場所
流下する水生昆虫や藻類を餌とする生物の生息場所

3. 河川整備計画(素案) (5)河川整備計画の目標に関する事項

洪水による被害の発生の防止又は軽減に関する目標

- 日向川水系においては、過去の大規模洪水である昭和30年6月洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。
- なお、日向川の河口から荒瀬川合流点及び荒瀬川においては、荒瀬川の氾濫により大きな被害が発生した令和6年7月洪水と同規模の洪水に対して、越水・溢水の防止を図るものとする。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- 動植物の保護、景観、流水の清潔の保持に必要な流量と、水利用に必要な流量の双方を満足させる。

河川環境の整備と保全に関する目標

- 動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 現状の良好な水質の維持
- 自然環境や町並みと一体となって形成される特徴的な河川環境の維持・形成
- 河川利用の多様なニーズに配慮した河川空間の確保

3. 河川整備計画(素案) (6)河川整備計画の実施に関する事項

【河川工事の目的】

- 洪水を流下させることを目的として、掘削・築堤工事等による河積拡大を行う。なお、工事を行う河川では、以下に配慮する。
 - ✓ 工事の詳細な内容については、事前に説明会等を行い、地域の理解を求める。
 - ✓ 自然環境の保全・復元のため、多自然川づくりを実施する。
- 人と河川との「豊かなふれあい空間」として、親水に配慮した河川空間を整備する。

【河川工事の施工場所】

荒瀬川:日向川合流点から上流端までの15.9km



3. 河川整備計画(素案) (6) 河川整備計画の実施に関する事項

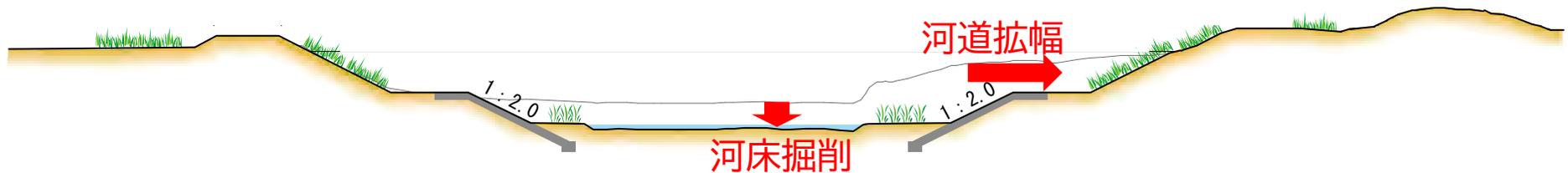
【河道の整備】

流下能力を向上させるために、河道掘削(河床掘削や河道拡幅)・築堤等を実施する。

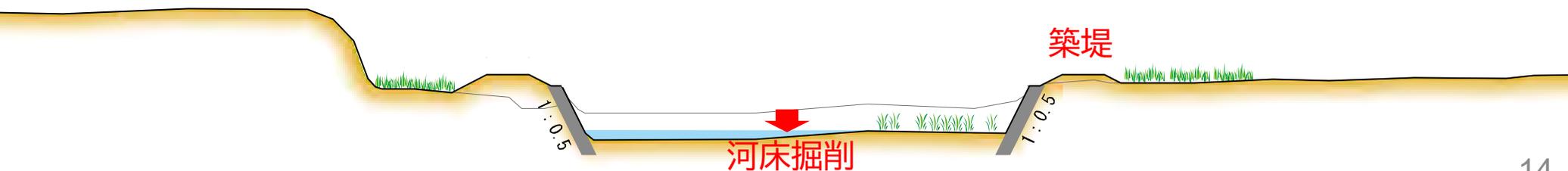
【配慮事項】

河道掘削を行うことから、水際部については現在の良好な河川環境を可能な限り復元することにより、魚類の生息環境について配慮する。取水堰では改築と合わせて魚道を整備し、多様な動植物の生息環境の保全・復元に努める。護岸の設置は、河岸や堤防の決壊を防ぐために必要な範囲において施工する。

▼ 荒瀬川河川整備の代表断面図(桜橋の上流部)



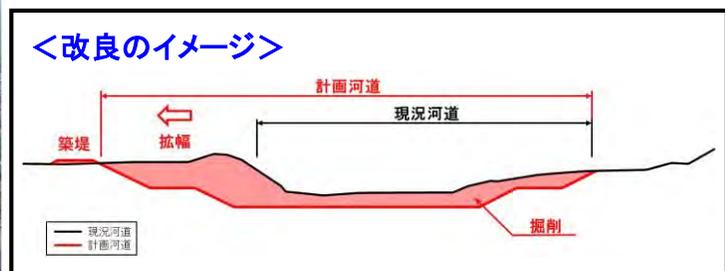
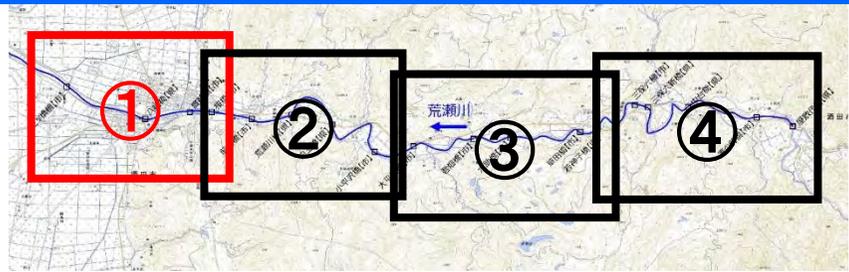
▼ 荒瀬川河川整備の代表断面図(家の前橋の上流部)



～ 荒瀬川の改良復旧について ～

◆ 改良のポイント

- 河道掘削・築堤等により流下断面を確保
- 河道拡幅の際は、内湾側を拡幅し蛇行を是正
- 削られて広がった河道をそのまま残し、洪水の勢いを弱める

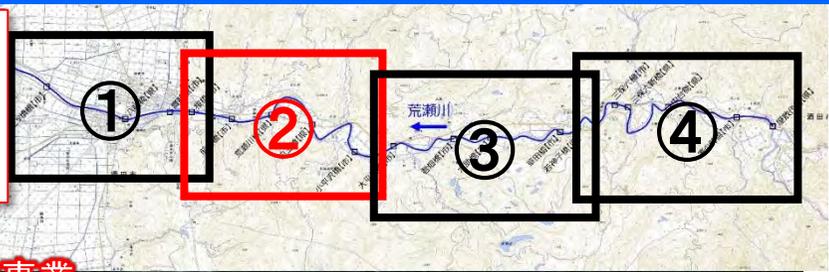


※ 詳細設計により内容が変更されることがあります

～ 荒瀬川の改良復旧について ～

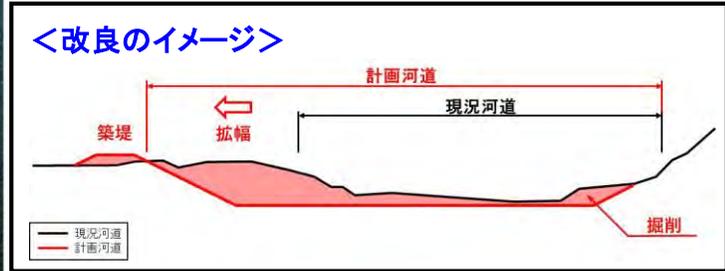


- ◆ 改良のポイント**
- ▶ 河道拡幅・築堤等により流下断面を確保
 - ▶ 河道拡幅の際は、内湾側を拡幅し蛇行を是正
 - ▶ 削られて広がった河道をそのまま残し、洪水の勢いを弱める



河川災害復旧助成事業

河床掘削のほか、河道拡幅・築堤も組合せ(予定)

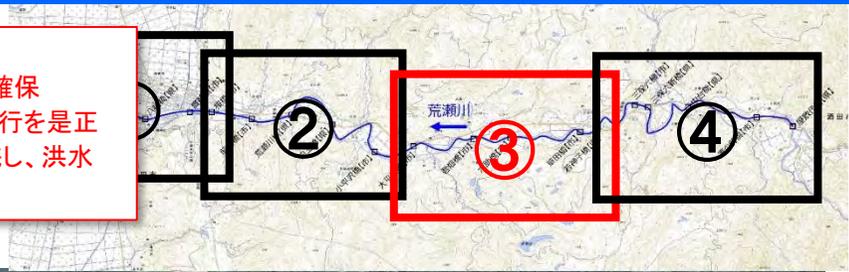


※ 詳細設計により内容が変更されることがあります

～ 荒瀬川の改良復旧について ～



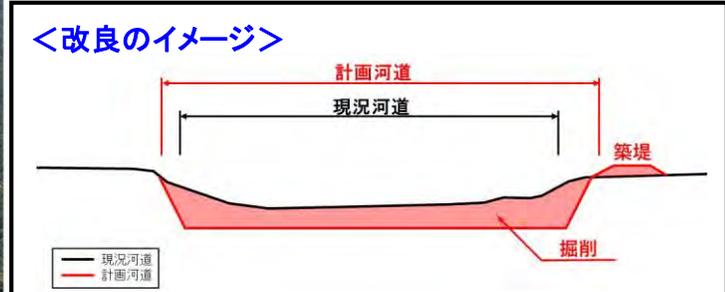
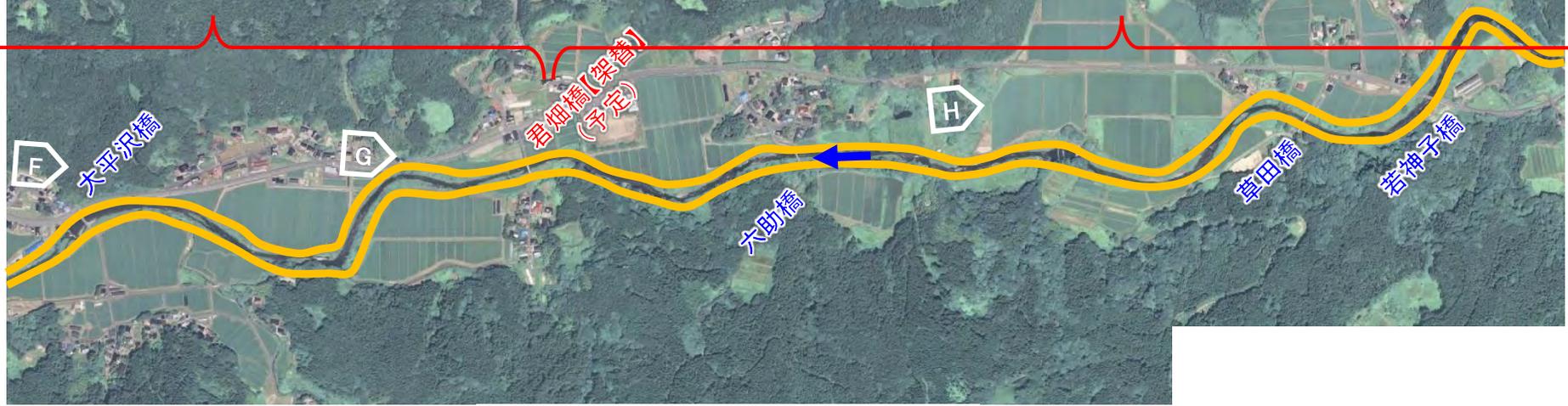
- ◆ 改良のポイント
- 河道掘削・築堤等により流下断面を確保
 - 河道拡幅の際は、内湾側を拡幅し蛇行を是正
 - 削られて広がった河道をそのまま残し、洪水の勢いを弱める



河川災害復旧助成事業

河床掘削のほか、河道拡幅・築堤も組合せ(予定)

現況河川区域内で河道掘削対応(予定)

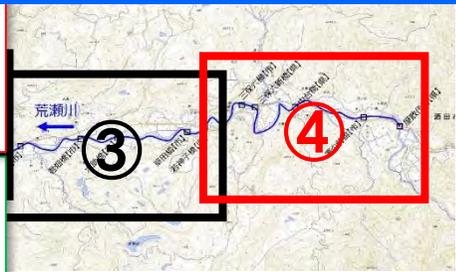


※ 詳細設計により内容が変更されることがあります

～ 荒瀬川の改良復旧について ～



- ◆ 改良のポイント
- 河道掘削・築堤等により流下断面を確保
 - 河道拡幅の際は、内湾側を拡幅し蛇行を是正
 - 削られて広がった河道をそのまま残し、洪水の勢いを弱める



- 流木捕捉工
- ・ 河川の増水時に流下する流木を捕捉し、下流での流木が原因の被害を軽減
 - ・ 通常時は本川側を水が流れ、増水時には捕捉池側に流木を取り込んで捕捉

河川災害復旧助成事業

現況河川区域内で
河道掘削対応(予定)

河床掘削のほか、
河道拡幅・築堤も組合せ(予定)

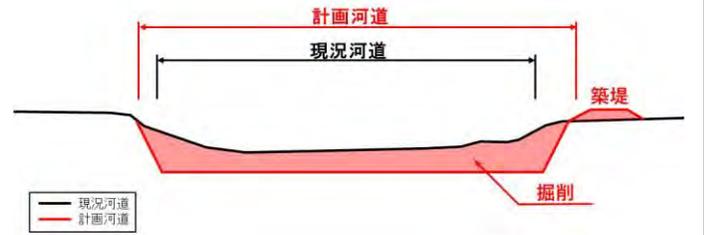
砂防堰堤工



流木捕捉工イメージ



<改良のイメージ>



※ 詳細設計により内容が変更されることがあります

3. 河川整備計画(素案) (7)維持管理に関する事項

維持管理

現状

- 災害を防ぐため、河道及び河川管理施設について日々の管理を実施している。
- 洪水時や震災時、水質事故時等への対応として、即応体制の整備や各種情報の提供、関係機関の連携強化に取り組んでいる。
- 河川空間は多種多様に利用されており、「きれいな川で住みよいふるさと運動」や、水害予防組合、河川愛護団体の活動により地域一体となって河川管理を実施している。

課題

- 動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した上での維持管理の促進
- 河川情報の正確かつ迅速な収集・処理・伝達
- 河川管理者と地域住民・NPOとの協力連携や多様なパートナーシップの形成
- 洪水に対する地域住民の意識醸成と洪水防御成果の周知
- 水質事故に対する迅速な対応、各種広報活動の充実

目標

- 河川管理施設の的確な状態把握と評価、適切な管理の実施
- 関係機関や地域住民との協働、及び河川管理に対する意識醸成

3. 河川整備計画(素案) (8)その他必要な事項・配慮する事項

【地域と一体となった川づくりの推進や河川愛護の普及と啓発】

- 市民団体、企業、NPO 及び関係行政機関との連携を図り、地域と一体となった川づくりを推進
- 子供たちの自然とのふれあい学習、河川清掃ボランティア等の管理活動、水防活動、各種イベントなどを通して、河川愛護の普及と啓発に努める。



酒田市教育力向上事業「日向川水系生きもの語り」
～親子野外学習／アユの捕獲体験～

(場所: 舞鶴水辺の広場／山形県内水面漁業協同組合連合会より写真提供)



「きれいな川で住みよいふるさと運動」チラシ
(山形県HPより)

3. 河川整備計画(素案) (8)その他必要な事項・配慮する事項

【危機管理体制の推進】

- 「山形県河川・砂防情報システム」等※により、雨量、水位、河川画像データ等を発信し、インターネットやメール配信により、迅速で効率的な情報提供を行う。
- 市町村などのタイムライン(防災行動計画)や要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援、洪水時における市町村長へのホットライン等、より迅速かつ適切な避難行動に向けた取組を推進

※ 次のスライド以降で「山形県河川・砂防情報システム」と「危機管理型水位計」を紹介

【流域治水の推進】

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が共同して流域全体で行う「流域治水」※への転換を進めることが必要。「山形県二級水系流域治水プロジェクト」※として対策の全体像を示し、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を推進
- 令和6年7月大雨による被害を受けて策定した「日向川水系・月光川水系緊急治水対策プロジェクト」※により、国、県、市町村等が連携し、河道掘削、堤防整備等を着実に実施していくほか、砂防や治山等の関係者と連携し、砂防施設や治山施設の整備など、土砂・流木対策が推進されるよう努めていく。

※ 次のスライド以降で「流域治水」と「山形県二級水系流域治水プロジェクト」、「日向川水系・月光川水系緊急治水対策プロジェクト」を紹介

3. 河川整備計画(素案) (8)その他必要な事項・配慮する事項

【山形県河川・砂防情報システム】

- 県内各地の雨量情報や水位情報等を自動的に収集・管理し、県内の自治体関係機関にリアルタイムに情報を提供(水位情報の提供は、水防法で指定の洪水予報・水位周知河川70河川／県管理河川554河川)
- メールに自動配信の登録により、避難が必要となったときなど「雨量/水位の情報」「気象注意報・警報」「洪水予報」「土砂災害警戒情報」の情報をメールで配信

<パソコン画面>

山形県 河川・砂防情報

気象情報 雨量情報 水位情報 土砂災害

気象警報・注意報 雨量情報 レーダ雨量 (気象庁) 水位情報 洪水予報 氾濫警戒(危険)情報 水防警報 土砂災害警戒システム ダム情報

地図から探す 地図からご希望の地域を選択して下さい。

全地域 庄内 最上 北村山 西村山 東南村山 西直轄 東南直轄

気象警報・注意報 発表はありません

洪水予報 発表はありません

氾濫警戒(危険)情報 発表はありません

水防警報 発表はありません

土砂災害警戒情報 発表はありません

警戒区域情報 浸水想定区域 | 土砂災害警戒区域等 | ハザードマップ

お知らせ 06月09日更新

観測所の閉局について(2021.06.09) 下記観測所について、冬期閉局より閉局いたします。引き続き山形県河川・砂防情報システムをご活用のごお願い申す

■雨量局: 沢口(大江町)

観測所の閉局等について(2021.06.02) 下記観測所について、機器不具合があったためしばらくの間、引き続き山形県河川・砂防情報システムをご活用のごお願い申す

時間雨量 [mm] 累加雨量 [mm]

水位 [m]

時間雨量 [mm] 累加雨量 [mm]

時間雨量警戒値 (< 60 mm) 累加雨量警戒値 (< 80 mm)

時間雨量注意値 (< 40 mm) 累加雨量注意値 (< 50 mm)

水位 [m] 氾濫危険水位 (3.40 m) 避難判断水位 (3.30 m) 氾濫注意水位 (< 2.60 m) 水防団待機水位 (< 2.20 m)

<スマートフォン用画面>

山形県河川砂防情報

県内の防災気象情報

気象警報・注意報

大雨 洪水 その他

洪水予報

発表されていません

氾濫警戒(危険)情報

発表されていません

水防警報

発表されていません

土砂災害警戒情報

発表されていません

河川砂防情報メール

河川砂防情報メール

レーダ雨量

レーダ雨量 (気象庁)

雨量基準超過状況

超過なし

雨量基準超過状況

超過なし

ダム基準超過状況

超過なし

スマートフォン対応
【令和3年4月~】

<携帯用画面>

山形県 河川砂防情報

河川砂防情報メール

防災情報

- 気象警報・注意報
- 土砂災害警戒情報
- 洪水予報
- 氾濫警戒(危険)情報
- 水防警報

雨量の動向(気象庁 PC/スマートフォン)

※レーダ雨量(国土交通省)の提供は2021年3月23日に終了しました。

観測情報

- 雨量(超過)
- 水位(超過)
- 水位(超過)
- ダム(超過)

川の水位情報(PCサイト)

土砂災害警戒システム

お知らせ(06/09)

用語の説明

利用上の注意

提供: 山形県国土整備部 河川課/砂防・災害対策課 TEL:023-630-2611

スマートフォン用

携帯電話用

3. 河川整備計画(素案) (8)その他必要な事項・配慮する事項

【危機管理型水位計】

- 常時水位を観測する通常水位計100基(70河川)に加え、**洪水時の水位観測に特化した危機管理型水位計85基**を平成31年4月から運用開始し、その後、令和4年8月大雨を踏まえて3基を追加運用(計88基)
- この度、令和6年7月大雨の被害を踏まえ、新たに庄内地域に8基、最上地域に3基を追加設置する予定(**日向川水系においては、荒瀬川の屋敷代橋に追加設置予定**)

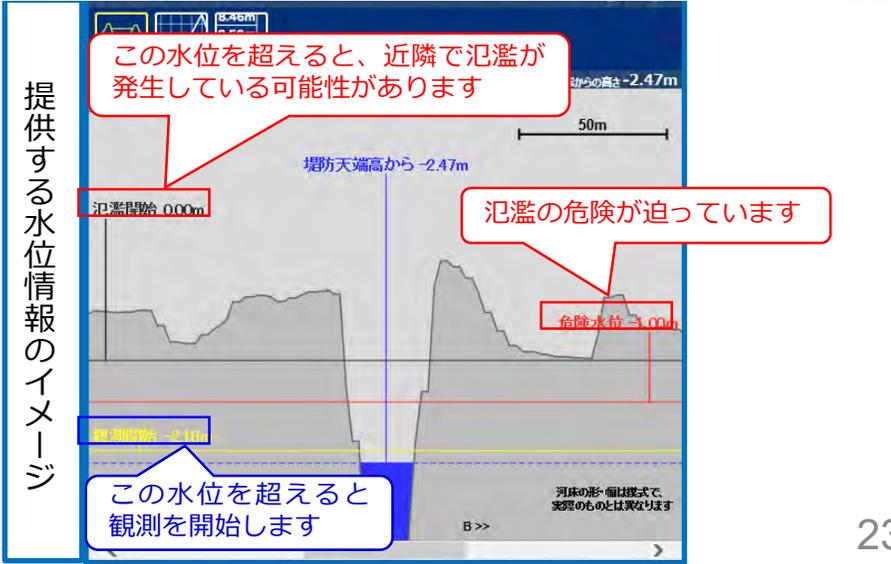


身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。



▶ 住民の方々が自らは氾濫の危険性を知り、的確な避難行動などに役立つように、**利用者目線に立った新しい『川の防災情報』**を提供しています

パソコンから <http://www.river.go.jp/>
 スマートフォンから <https://www.river.go.jp/s/>



3. 河川整備計画(素案) (8)その他必要な事項・配慮する事項

【流域治水】

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域
 [国・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

流水の貯留 河川区域
 [国・県・市・利水者]
 治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上
 [国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす
 [国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫 氾濫域
 [国・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

3. 河川整備計画(素案) (8)その他必要な事項・配慮する事項

二級水系 山形県二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

～流域が一体となった治水対策の推進～

○令和2年7月豪雨災害が本県の風水害として過去最大の被害額となったことを踏まえ、庄内圏域において事前防災対策を進める。
 ○洪水により大きな被害が想定される河川として水防法により指定した洪水予報河川及び水位周知河川である8河川において河川整備等に併せ、雨水貯留対策・土地利用規制等、県と市町、関係機関等が連携し流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策
 - ・河道掘削・堤防整備【県】
 - ・堆積土砂・支障木撤去等による流下能力の確保【県】
 - ・河川管理施設長寿命化対策【県】
- 集水域での対策
 - ・砂防等施設を整備【県】
 - ・治水ダムにおける事前放流等の実施、体制構築【県】
 - ・森林整備、治山対策【国・県・森林整備センター】
 - ・水田貯留(田んぼダム)【県・市】
 - ・雨水幹線の整備【市】
 - ・下水道施設(処理場)の耐水化【市】

■被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
 - ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等)【市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
 - ・河川情報提供の充実【県】
 - ・防災情報提供の充実【市町】
 - ・洪水ハザードマップの活用【市町】
 - ・マイタイムラインの普及促進【市町】
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成等の促進【県・市町】
 - ・防災教育・訓練等の実施【県・市町】
 - ・ホテル及び旅館などの避難所としての利用の推進【市】
 - ・自主防災組織への支援【市町】

山形県HP
「流域治水の推進」より

二級水系 山形県二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域が一体となった治水対策の推進～

●月光川、日向川、新井田川、三瀬川、五十川、海堀川、庄内小国川、最ヶ岡川の8水系では、国、県、市町など全ての関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】 家屋浸水等を未然に防ぐため、河道掘削や堤防整備等を実施するとともに、水田貯留、安全なまちづくりのための土地利用規制・誘導の推進、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するとともに、住民の避難行動を促す河川情報提供の充実等を図る。
 【中長期】 河道掘削、堤防整備と堆積土砂・支障木撤去等により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図るとともに、安全なまちづくりのための立地適正化計画を策定し、家屋移転、嵩上げ補助制度を創設する。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※色分け：対策実施に向けた調整・検討期間を示す

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備	山形県	河道掘削・堤防整備完了	
	堆積土砂・支障木撤去等による流下能力の確保	山形県		
	砂防等施設の整備	山形県		
	森林整備、治山対策	東北森林管理庁 山形県・森林整備センター		
	水田貯留	山形県・滝城市町	田んぼダム等の整備 (鶴岡市・酒田市)	
②被害対象を減少させるための対策	土地利用規制・誘導の推進(災害危険区域等)	山形県・滝城市町	土地利用規制・誘導の推進(災害危険区域等)	
③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川情報提供の充実 防災情報提供の充実	山形県・滝城市町	河川情報の提供の充実(山形県)	
	洪水ハザードマップの活用、 マイタイムラインの普及促進、 要配慮者利用施設の避難確保計画 作成・避難訓練実施の促進、 防災教育・訓練等の実施	県議会 山形県・滝城市町	マイタイムラインの普及促進(滝城市町)	
	自主防災組織等への支援	滝城市町	ハザードマップの活用(酒田市)	
			自主防災組織等への支援(鶴岡市・酒田市)	

※色分けは調整・検討期間を示す

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

3. 河川整備計画(素案) (8)その他必要な事項・配慮する事項

山形県HP
「流域治水
の推進」
より

日向川水系・月光川水系 緊急治水対策プロジェクト ～あらゆる関係者と連携した地域復旧復興のための治水対策の推進～

○二級水系である日向川水系及び月光川水系では、令和6年7月25日からの大雨により甚大な被害を受けたことを踏まえ、激甚化・頻発化する災害に対して浸水被害の軽減を図るため次の対策を実施する。
 >山形県(河川)は、荒瀬川の河道掘削、施設復旧や土砂浚渫を集中的に実施するとともに、継続中の事業についても進度を加速化し浸水被害を軽減する。
 >山形県(砂防)は、土石流などが発生した溪流において、砂防堰堤等の施設を整備し、本川への土砂・流木の流出を軽減する。

- 事業期間 令和6年度～令和10年度
- 事業費 約160億円
※県が行うハード対策に係る事業費を計上
- 目標 令和6年7月と同規模の洪水に対して、越水・溢水による浸水被害を防止する。
なお、今後、激甚化・頻発化する災害に対しても氾濫による浸水被害を軽減する。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策
 - 1 荒瀬川の河川整備計画策定【山形県・河川】
 - 2 荒瀬川の河道掘削【山形県・河川】
 - 3 施設復旧【山形県・河川】
 - 4 土砂浚渫【山形県・河川】
 - 5 継続事業(築堤・河道掘削、貯砂ダム整備)の加速化【山形県・河川】
- 集水域での対策
 - 6 砂防堰堤の整備、土砂・洪水氾濫対策検討【山形県・砂防】
 - 7 治山施設の整備【林野庁、山形県・森林】
 - 8 雨水排水施設の整備【遊佐町】
 - 9 田んぼダムの推進【酒田市】

- 被害対象を減少させるための対策
- 氾濫域での対策
 - 10 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導【山形県、酒田市】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 氾濫域での対策
 - 11 水害リスク情報の充実と普及【山形県、酒田市、遊佐町】
 - 12 早期復旧・復興のための拠点づくり【学・民】

- 本プロジェクトと連携して進める事業
- 地域の復旧復興のためのライフライン事業
 - ・道路施設の復旧【山形県、酒田市、遊佐町】
 - ・農地、農業施設の復旧【酒田市、遊佐町】
 - ・水道、下水道施設の復旧【酒田市】



	R6	R7	R8	R9	R10
1 荒瀬川の河川整備計画策定【山形県・河川】		完了			
2 荒瀬川の河道掘削【山形県・河川】					
3 施設復旧【山形県・河川】			完了		完了
4 土砂浚渫【山形県・河川】			完了		
5 築堤・河道掘削、貯砂ダム整備【山形県・河川】					
6 砂防堰堤整備、土砂・洪水氾濫対策検討【山形県・砂防】					
10 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導等【山形県・酒田市】					
11 水害リスク情報の充実と普及【山形県・酒田市・遊佐町】					
12 早期復旧・復興のための拠点づくり【学・民】					

4. 今後の予定 整備計画策定スケジュール

